

**「市民の皆様からの  
ご意見と神戸市の考え方」**

**平成 18 年 6 月**

**神戸市保健福祉局**

(目 次)

新中央市民病院の概要に関する意見	1 P
1. 基本方針	
2. 施設概要	
部門別基本計画に関する意見	4 P
1. 救急部門	
2. 外来部門	
3. 診療部門	
4. 医療安全管理部門	
5. 地域連携部門	
6. サービス支援部門	
施設基本計画に関する意見	2 1 P
整備手法に関する意見	3 1 P
事業計画に関する意見	3 4 P
現病院の資産活用に関する意見	3 6 P
その他	3 7 P

(注記) いただいたご意見につきましては、取りまとめの便宜上、神戸市保健福祉局で、適宜要約させていただいております。よろしくご了承願います。

## ・新中央市民病院の概要

### 1 基本方針（24件）

市民意見	救急医療・高度医療・急性期医療に重点をおき、常にトップレベルの医療技術を保った、地域で一番の病院の実現に向けて頑張ってもらいたい。（6件）
	計画（案）どおり、高度医療等を担う、立派な最新設備を備えた新中央市民病院を早期に実現してほしい。（4件）
	医療機器の整備や高度医療提供体制だけでなく、患者・家族にやさしく、安心・信頼して利用できる市民病院をめざしてほしい。（3件）
	難病、奇病等、少数の治療困難な医療にも積極的に取り組んでほしい。（2件）
	神戸空港からのアクセスの利便性を生かして、国内の著名な専門医と連携を図るなど、今後も神戸市民の医療の中心機関として、更に施設、医師のレベルを充実させてほしい。（1件）
	基本方針を生かした新病院の建設を実現し、神戸市民のためのみならず、医療の発展に寄与してほしい。（1件）
	高度先進医療の提供により、東アジアの高度先進医療拠点を目指してほしい。（1件）
	神戸市内の他病院とだけ差別化を図るのではなく、域外（他市、他県、アジア地域）と差別化できるよう考えてほしい。（1件）
	初期診療や通院治療に重点をおくのではなく、先端医療型の病院として整備すべきではないか。（1件）
	施設、設備、最新技術の強調に比重が傾いているが、患者の回復のためのソフト重視の施策を期待したい。（1件）
医療産業都市構想の臨床部門の核として高度先進医療を提供すべく、神戸らしい他所にない特徴を持った高度専門医療センターを設置してほしい。（1件）	
市民病院の本来の役割は、救急時の対応や後方専門総合病院として、安全性と有効性が確立した総合的な高度（先進）医療を行うことである。先端医療センターで行う安全性と有効性の不明確な「先端的」「治験的」「研究的」治療は、市民病院の本来の役割とは相容れないのではないか。（1件）	
これまでの病院は、ある意味「死ぬところ」という側面があったが、この度の基本計画（案）を拝読すると、救命救急の充実、高度専門医療、新興感染症への対応など、なんとか「生かせる」、絶対「死なせない」という意があって、非常に心強く感じる。（1件）	
市の考え方	基本計画（案）にもお示ししているとおり、新中央市民病院は、「地域医療機関との連携や役割分担のもと、引き続き救急医療、高度医療、急性期医療を重点に担い、24時間365日市民の生命と健康を守る」ことを第一の基本方針としており、地域の診療所や病院との適切な役割分担や連携を図りながら、総合的な医療を高いレベルで引き続き提供していきたいと考えています。

	<p>また、これまでの標準的医療に加え、今後ますます重要となってくる新たな医療需要にも的確に対応していくため、「高度専門医療センター」を設置し、医師・看護師・薬剤師・技師等によるチーム医療を徹底させることで、来院当初から急性期を脱するまで、患者さんにとって最適な医療が提供できるよう努めてまいります。</p> <p>さらに、近接の先端医療センターとの連携により、先端医療センターで臨床研究を終えた最先端の医療を、安全性・倫理性・科学性が認められ臨床に導入された段階で、できるだけ早く市民の皆様へ提供することで、標準的な医療では対応できない疾患に対する治療の選択肢を広げていけるよう取り組み、市民の皆様への医療サービス向上につなげていきたいと考えています。</p> <p>こういった基幹病院としての機能強化を図るとともに、患者さんやご家族に対する癒しと安らぎの環境を併せ持った病院として、提供する医療の内容や質、治療成績、患者サービスに関して、アジアのスタンダードになれる病院を目指してまいります。</p> <p>誰にもやさしい思いやりあふれる、21世紀にふさわしい病院として、現中央市民病院開院後30年目となる平成22年度開院を目指して、より一層市民の皆様の理解を得られるよう努めるとともに、市民の皆様が誇れる市民病院となるよう整備を進めてまいります。</p>
--	--

## 2 施設概要（19件）

市民意見	現病院で、入院待ちがあり、また、早期の転院・退院を求められる中、640床で救急、入院、手術等の医療需要に十分に対応していけるのか。（7件）
	現病院と比較して、延べ床面積が減少しているのは何故か。（2件）
	高度医療や救急の充実を図れば経営上もある程度の規模が必要だとは思うが、各所に必要な規模の病院があるのだから、それらの病院と連携を図ることにより、設備投資の低減と医療資源の有効活用を図ってはどうか。（2件）
	ポートアイランドの住民以外には、利便性が悪いので病院の規模を縮小してはどうか。（1件）
	病床数を減らさないでほしい。（1件）
	できれば、病床数を計画より、できるだけ増やし、市民が安心して治療できるようにしてほしい。（1件）
	病床数が減る分、市民が高度な医療を安心して受けられるよう、効率アップに努めてほしい。（1件）
	平常時は640床の規模を想定しておき、災害時には1,000床規模で対応することにより、大きな力を発揮してほしい。（1件）

	<p>640 床の病床数のうち、300 床を先端医療など特殊な医療に当てることが取り沙汰されているが、それでは、市民病院として求められる役割が十分に果たせなくなるのではないか。市として予定している病床利用の内訳を示すべきである。(1 件)</p> <p>病床数は、各部門ごとに根拠に基づいた数値を算出し、その積算結果として総病床数を計上すべきではないか。(1 件)</p> <p>延床面積や病床数が減少しているにも関わらず、外国患者の受け入れ等をする、現状と同程度の医療が提供できなくなるのではないか。(1 件)</p>
市の考え方	<p>中央市民病院の果たすべき役割・機能については、「地域医療機関との連携や役割分担のもと、救急医療・高度医療・急性期医療を重点に担い、24 時間 365 日市民の生命と健康を守っていく」ことが第一であると認識しております。</p> <p>新中央市民病院は、安全性・倫理性・科学性が認められていない特殊な医療を提供する病院として整備するのではなく、現中央市民病院と同様、総合的な市民病院として標準的な医療を高いレベルで引き続き提供してまいります。</p> <p>新中央市民病院の規模については、基本構想でもその考え方をお示ししているとおり、医療需要の動向や地域医療機関との役割分担を考慮したうえで、市の基幹病院として求められている医療をいかに市民に効率的・重点的に提供していくかといった観点（高齢化や少子化による新患者数の増減 地域医療機関との役割分担 医療技術の進歩に伴う入院手術の日帰り化 平均在院日数の短縮 病床一元管理による効率的な病床運営）から、総合的に判断し定めたものです。</p> <p>また、病院の評価については、単に病床の数だけでなく、提供する医療機能とも併せてご判断いただきたいと考えています。</p> <p>新中央市民病院では、</p> <p>救急患者の受け入れ態勢を強化するため、患者さんやご家族が安心できるよう、救命救急センターに、基準病床数に計上されない経過観察用ベッドを設置したり、重症患者のための集中治療室の充実を図ります。</p> <p>近年の医療技術の進歩を踏まえ、「日帰り手術センター」や「通院治療センター」を設置することにより、外来診療機能の充実を図ります。</p> <p>地域の医療・介護・福祉施設との連携を強化するため、「地域医療センター」を設置し、中央市民病院と地域医療機関との患者のスムーズな流れを整備します。</p> <p>全病床を一元管理する「病床管理者」の設置や電子カルテを中心とした総合的な医療情報システムを導入することにより、病床運営の更なる効率化を図ります。</p> <p>現中央市民病院の1床あたりの延床面積が約 80 m<sup>2</sup>であるのに対し、新病院では1床あたり約 100 m<sup>2</sup>を確保することにより、患者さんやご家族の視点に立った、アメニティ豊かなゆとりのある空間を確保することや、弾力的な運用が可能となるよう、将来の医療環境の変化に対応できる拡張スペースの充実等を図ります。</p> <p>さらに、災害等緊急時には、平常時の病床に加え、別途 300 人程度の患者を収容できるような工夫をし、あわせて 1,000 床規模での運用が可能となるよう整備します。</p>

## ・部門別基本計画

### 1 救急部門（6件）

市民意見	救急医療の高度化・充実を図ってほしい。（3件）
	ドクターカーやドクターヘリの積極的な活用を図ってほしい。（1件）
	病院により医療の格差があるので不公平とならないように、救急部門は24時間体制で受け入れてほしい。（1件）
	基本計画（案）の記述では、神戸市全域を視野に入れて役割分担に則り、24時間対応を余儀なくされている既存の医療機関との連携・役割分担への配慮が欠けるのではないか。（1件）
市の考え	<p>新中央市民病院では、兵庫県保健医療計画神戸圏域計画に定める地域の救急医療システムにおける役割分担のもと、ドクターカー等の活用を図りながら、民間病院が対応しにくい診療科を含め全診療科において、引き続き24時間365日救急患者の受け入れを断らない高機能総合救命救急センターとして、初期救急から3次救急まであらゆる救急医療需要に対応します。</p> <p>救急部門では、初期救急処置室とは別に、3次救急処置室や小児専用の処置室を設置し、救急患者の緊急度や重症度に応じた処置を迅速に行えるようにしたり、一般患者との動線を明確に分離するため感染症患者専用の出入り口やエレベーターを整備します。</p> <p>また、高度専門医療センターとして心臓センターや脳卒中センターを設置し、特に一刻を争う心筋梗塞、狭心症、脳卒中に対して、救命救急センターとの連携の下、24時間対応できる体制を整備するなど、救急医療の充実を図っていきたいと考えています。</p> <p>既存の医療機関との連携については、基本計画（案）の1．救急部門（1）基本方針に「<u>地域の救急医療システムにおける地域医療機関との適切な役割分担のもと</u>」という文言を加筆し、今後とも地域の診療所や病院との適切な役割分担や連携を図りながら、神戸市全体で救急医療をはじめ市民の皆様が必要とする医療を充足できるよう、救急医療・高度医療・急性期医療を重点に担い、中央市民病院が本来果たすべき役割を担っていきたいと考えています。</p>

### 2 外来部門（19件）

（待ち時間対策について）

診察・検査・会計等の待ち時間の短縮を図ってほしい。（7件）
-------------------------------

市民意見	PHS やポケベルのような携帯型の呼び出しシステムや待ち時間表示システム等を導入してほしい。( 5 件 )
	待ち時間を楽しく過ごせるような店や施設を導入してほしい。( 2 件 )
	カルテを手で運ぶ時間をカットするため、電子カルテを導入してほしい。( 1 件 )
	初診患者と再診患者を分けて、待ち時間の短縮を図ってほしい。( 1 件 )
	医師の増員や検査機器の増加により、待ち時間の短縮を図ってほしい。( 1 件 )
市の考え方	<p>待ち時間対策については、これまでも診療時間の繰上げ、予約時間枠の設定の改善、外来オーダーリングシステムの導入、再来受付機の導入、かかりつけ医からの紹介患者を優先的に受け入れる「紹介外来」の設置など様々な取り組みを行ってきましたが、依然各種調査によると、改善要望項目の上位を占めています。</p> <p>新中央市民病院では、初診患者を「適切な外来」に振り分ける外来コーディネーターの配置 画像診断部門や検査部門の効率的な配置 電子カルテの導入 駐車スペースの倍増 会計の自動精算機の導入などによりトータルとしての待ち時間の短縮を図りたいと考えています。</p> <p>また、診察や検査、会計までの待ち時間を有意義に過ごしていただけるように、携帯呼び出しシステムを導入するとともに、本やパソコン、映像などが楽しめる市民健康ライブラリーの設置や、こども向けのアメニティにも十分配慮した施設整備を進めていきます。</p> <p>医師の配置人数や医療機器の設置台数については、財政状況が厳しいとはいえ、新中央市民病院が果たすべき役割や機能に応じて適切な規模を確保していく必要があると認識しています。今後、ICT の活用による運営業務の効率化や最新機器の導入による検査時間の短縮化とあわせて、いただいたご意見も参考に詳細について検討していきたいと考えています。</p>

(予約について)

市民意見	インターネット等による事前予約システムを導入してほしい。( 2 件 )
市の考え方	<p>診療予約については、待ち時間の短縮や患者サービスの向上を図るために、従来から改善に取り組んでいます。</p> <p>現中央市民病院では、初診については、診察にかかる時間は症状により異なることや、患者さんがどの診療科に予約すればよいのか判断するのが難しいため、原則として患者さんからの個別予約の受付を行っておりませんが、患者さんの病状に応じた医療を提供する地域完結型医療の推進などの観点から、かかりつけ医による紹介予約制</p>

	<p>度を地域医療機関との連携により導入しています。また、再診については、診療後に次回の予約を受け付けており、その変更については電話での対応を行っています。</p> <p>診療予約制度については、患者サービス向上の観点からその重要性を認識しており、現在 FAX を使って行っている地域医療機関からの予約制度等にも、今後、ICT の活用について、いただいたご意見を参考に検討していきたいと考えています。</p>
--	--

### 3 診療部門（19件）

（がん治療について）

市民意見	<p>三大疾病に対する専門性を高めてほしい。とりわけがん治療については、早期発見は当然であるが、最先端の高度治療が行えるよう物的にも人的にも充実した施設としてほしい。（2件）</p> <p>癌の痛みを緩和するホスピス病棟を必要な数つくってほしい。（1件）</p> <p>例えば、がん告知を受けた患者や家族の心のケアの専門スタッフを配置してほしい。（1件）</p>
市の考え方	<p>がんは、昭和56年以降脳卒中に代わって日本人の死亡原因の第1位となっており、現中央市民病院においても最重点に取り組むべき疾病のひとつとして認識し、最適な医療を提供できるよう日夜努力を重ねております。</p> <p>新中央市民病院では、高度専門医療センターとして「がんセンター」を整備し、内科系医師、外科系医師、放射線治療の専門医師、看護師、放射線技師、薬剤師などがチームを組んで、手術、放射線療法、化学療法を有効に組み合わせることにより患者さんにとって来院当初から最適な治療を行います。</p> <p>さらに、がんの治療に必要な検査・治療部門を統合した上で映像医学・放射線治療センターを新設し、ピンポイント照射が可能な CT ライナック等を使って、正常な細胞への影響をより少なくした正確な放射線照射による体への負担や副作用の少ない治療など、最新の医療機器を使った適切な治療が効率的にできる仕組みを構築していきたいと考えています。</p> <p>がんの痛みを緩和する緩和ケアについて、現中央市民病院においては、医師、看護師（がん性疼痛認定看護師や精神看護専門の看護師など）、薬剤師などで緩和ケアチームを結成し、患者さんとそのご家族の精神的・身体的苦痛をできるだけ和らげるため、疼痛管理などの症状コントロールやこころのケアを行うなど、チーム一体となって支援を行っています。</p> <p>新中央市民病院においては、急性期医療を重点に担うという役割から、緩和ケア専門のホスピス病棟については設置いたしません。緩和ケアを含む終末期医療の重要性は認識しており、ご家族とゆっくり食事や団楽ができる多目的室やデイルーム、さ</p>

	<p>らには、「看取り」にも配慮した、緩和ケアに対応できる個室を病棟に設置するなど、急性期病院としての役割との整合性をとりながら、できるかぎり患者さんやご家族の望まれる環境整備に努めてまいりたいと考えています。</p> <p>今後も、がんに対して全身管理を行うことができる腫瘍内科医などの確保、看護師・コメディカルにおける専門領域の資格取得、「がん専門薬剤師」の養成などにより、対応医療従事者が専門分野で技能を発揮できるように、積極的に人材の育成・確保を行ってまいりたいと考えています。</p> <p>また、患者さんによって、できるだけ治療を望まれる方やご自宅やいわゆるホスピスにおける疼痛緩和だけで、ゆったりと最期を迎えたい方など、その考え方は様々であり、これらの希望にできる限り応えるためには、中央市民病院単体ではなく、地域医療機関や訪問看護ステーションなどとの適切な役割分担により、地域全体で支えていくことが必要であると考えています。</p>
--	--

(移植医療について)

市民意見	<p>新病院は今よりもっと臓器移植など専門的な医療が出来る病院になって、臓器移植にしか生きる道を見出せない患者の命を救う病院になってほしい。(1件)</p> <p>腎移植をはじめ移植医療が高度専門医療センターで積極的に行われることを望む。(1件)</p>
市の考え	<p>現中央市民病院は、従来から骨髄や腎臓移植などに代表される生体移植を実施してきましたが、平成16年7月には全国で30例目、県内で初めてとなる脳死下での臓器提供や、平成17年4月から自治体病院として初めて生体部分肝臓移植を実施するなど、地域の医療機関では実施困難な移植医療を提供しています。</p> <p>新中央市民病院においては、高度専門医療センターの1つとして「移植・再生医療センター」を設置し、将来的にはより広範囲な臓器移植が可能となるよう、実施のための条件整備を図っていきたいと考えています。</p>

(精神医療・心のケアについて)

市民意見	<p>阪神大震災の教訓を生かし、災害時のPTSDへの対応や、がん末期などの患者・家族のこころのケア、救急も含めた精神医療などを充実させてほしい。(1件)</p> <p>精神医療の救急部門を設けてほしい。(1件)</p>
	<p>現中央市民病院においては、医師、看護師(がん性疼痛認定看護師や精神看護専門の看護師など)、薬剤師などで緩和ケアチームを結成し、患者さん及びそのご家族の精神的・身体的苦痛をできるだけ和らげるため、疼痛管理などの症状コントロールや</p>

市 の 考 え 方	<p>こころのケアを行うなど、チーム一体となって支援を行っています。</p> <p>また、市民病院群としては、精神病院に入院中の患者さんが身体合併症を併発された場合、西市民病院に身体合併症病床を4床確保し、その治療にあたるなど役割分担を図っています。</p> <p>さらに、市民の皆様のごころの健康づくりのための複合的機能を備えた中核施設として設置された「神戸市こころの健康センター」では、精神障害に関する知識の普及、啓発、調査研究、教育研修、精神保健福祉相談等の実施及び「こころの健康電話相談」専用ダイヤルを設置し、患者さんやご家族の方、災害時の PTSD でお悩みの方などを含めた市民の皆様のごころの健康についての相談をお受けしております。</p> <p>精神科救急については現在、「精神科救急医療システム」を兵庫県が実施しており、夜間や休日の昼間の精神症状の急発・急変に対応する入院治療のための空床を神戸・阪神ブロックで1床、播磨ブロックで1床が確保されています。</p> <p>今後とも、地域医療機関との連携や役割分担の中で、市民病院群として精神医療についても、必要な機能・役割を担っていきたいと考えています。</p>
-----------------------	---

(小児医療の充実について)

市民 意 見	<p>現在、十分とはいえない新生児・小児に対する医療(特に救急)に力を入れてほしい。(2件)</p>
市 の 考 え 方	<p>「小児科医療のモデル都市神戸」たるべく、医師の確保や新鋭診療機器の導入を含め、小児科医療部門の拡充、強化をしてほしい。(1件)</p> <p>小児救急については、救命救急センターとしての中央市民病院及び地域医療機関の連携による病院群輪番制の当番病院、神戸市医師会における夜間の「急病診療所」及び休日の「小児科休日急病診療所」などにより、初期から3次までの救急医療を24時間365日対応しています。今後も、それぞれの医療機関の機能に応じた役割分担や、相互の連携により、神戸市全体として小児救急医療の充実に努めていきたいと考えています。</p> <p>医療分野における少子化対策の一つとして、妊娠相談・遺伝相談・不妊治療にはじまる生殖補助医療から、妊娠・胎児を経て、周産期、小児期、思春期から成人への発達というライフサイクルに関わる医療を一貫して提供する「成育医療」は、重点的に取り組むべき医療分野であると認識しています。</p> <p>新中央市民病院では、高度専門医療センターの一つとして「成育医療センター」を設置し、高度な不妊治療やハイリスクの分娩の管理、合併症など、一般の医療機関では実施できない医療を中心に、新生児期・小児期から思春期にいたるまで、総合病院としてのメリットを活かした一貫したチーム医療を提供していきます。</p> <p>今後、設備面において、子どもの不安を和らげられるような「楽しさや遊び」のデ</p>

	<p>ザインなどを導入することにより「新しい病院の顔の1つ」として整備するとともに、入院生活におけるこどもの精神的負担の軽減などを支援する専門職であるチャイルドライフスペシャリストや、思春期の「こころのケア」のための臨床心理士などの必要な人材を確保するなど「成育医療」の充実を図っていきたいと考えています。</p>
--	---

(高齢者医療の充実について)

市民意見	<p>今後更に対象が増える高齢者に対する医療にもしっかり取り組んでほしい。 (1件)</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院においては、高齢社会において今後さらに増大が見込まれる3大疾病に対応するため、高度専門医療センターとして「心臓センター」、「脳卒中センター」、「がんセンター」を設置し、内科系医師、外科系医師、放射線治療の専門医師、看護師、放射線技師、薬剤師などがチームを組んで患者さんにとって来院当初から最適な治療を行いたいと考えています。</p> <p>手術部門、集中治療部門、救急部門、病棟などには説明室、相談室、家族控室などを適宜設置したり、どの診療科を受診すべきかわからない初診患者を「適切な外来」に案内する、外来コーディネーターを配置し、患者さんやそのご家族と医療従事者のインフォームドコンセントやコミュニケーションなどの場を確保し、不安の緩和や利便性の向上に努めてまいります。また、すべての利用者にとって安全で快適な環境づくりを目指す、ユニバーサルデザインの考え方をもとに施設整備を行うことなどにより、高齢社会に対応した医療の充実にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。</p>

(リハビリテーションの充実について)

市民意見	<p>患者を早く退院させ、元気な生活に戻ってもらうのが病院の使命であるから、出来るだけ日常生活に近い療養環境を提供し、心も体も「早く退院しなきゃ」と思わせることも大事である。(1件)</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院においては、急性期リハビリテーションに重点を置いており、早期歩行及び実用的な日常生活における諸活動の自立を目指し、出来るだけ早い段階からリハビリが始められるよう、病棟にリハビリコーナーを適宜配置したり、屋外庭園や散歩道を整備するなど療養環境の充実を図っていきます。</p> <p>また、患者さんやご家族の不安を和らげるために、訓練はリハビリテーション計画</p>

	に基づいて行い、退院時には居宅での回復訓練等についての助言・指導を行うとともに地域のリハビリテーション施設や回復期リハビリテーション施設との連携強化を図っていきたいと考えています。
--	--

(人材の確保について)

市民意見	優秀な人材を集めてほしい。(1件)
	産婦人科には女医を配置してほしい。(1件)
市の考え方	<p>高度医療、救急医療といった市民病院の役割を十分に果たすためには、医療機器等の整備はもとより、優秀な医療従事者の安定的な確保と各々の医療従事者が専門性を発揮しながら相互に連携して、適時・適切な医療サービスができるような研修・育成が重要であると認識しています。中央市民病院では、これまでも大学との連携などにより、研修医や後期研修医、看護師等については、優秀な人材の確保及びその育成に努めてきました。今後も引き続き採用・研修を通じて、高い技術力を持った人材を確保・養成するよう取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>また、性別に配慮した医療の提供としては、「女性特有の症状で何科にかかればよいかわからない」といった女性患者の声に応えて、平成15年4月に女性外来を開設し、週2回女性医師が専任で治療・相談を行っております。さらに、産婦人科においては従来から女性医師の確保に努めてまいりましたが、今後も女性医師のさらなる確保を図るとともに、医師をはじめ放射線技師や臨床検査技師などの医療従事者についても、資質や技術力も十分考慮した上で、できるだけ採用するよう努めていきたいと考えています。</p>

(食事の改善について)

市民意見	安らぎのある滞在環境の中心となるのは生活の基本である食事にあるので重視してほしい。(1件)
	病院で食事をする人のことも考えて、食堂のメニューにカロリーや塩分量の表示をしてほしい。(1件)
	食事は体調にあった温かいものを出してほしい。(1件)
	<p>病院給食は、患者さんの栄養状態の把握と効率的な栄養補給を行う治療の一環であるとともに、患者さんにとって入院生活の中での楽しみの一つであると認識しており、現中央市民病院でもアレルギーなどの個別対応、行事食の導入、適時適温給食の実施などその充実に努めています。</p>

市の考え	<p>新中央市民病院においては、一般食の選択メニュー制の導入や、治療食・行事食の充実を図るとともに、患者満足（嗜好満足）のフィードバックを行い、可能な限り、患者さんの嗜好を考慮した食事の提供に努めるなどにより、患者さんやご家族の皆様の利便性向上に努めます。</p> <p>また、栄養サポートチームにより、栄養ケアプランの作成や実施などの栄養ケアマネージメントにも取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>なお、カロリー等の表示に関するご提案については、基本計画（案）の 部門別基本計画 4．診療部門（2）主な機能 栄養管理部門に「<u>入院患者の食事や、外来患者や家族向けの食堂のメニューについて、メニュー毎の栄養価やカロリーなどの栄養情報の提供を充実する仕組みを検討します。</u>」という文言を加筆し、広く栄養管理に関する知識の啓発といった観点からも、基本計画を具体化する中で十分検討させていただきたいと考えています。</p>
------	---

（臨床研修について）

市民意見	<p>研修機能の充実と称し、治療現場において、学生や研修医等の安易な立会いは極力避けるなど、患者のプライバシーに配慮した対応に努めてほしい。（1件）</p>
市の考え	<p>市民の皆様に求められている医療を高い水準で行うためには、資質の高い医療従事者の育成が必要不可欠です。中央市民病院は昭和43年に臨床研修病院の指定を、平成9年には、歯科医師の臨床研修施設としての指定をそれぞれ受け、新たな人材の育成に努めています。治療現場において、研修のために研修医等の立会いをさせていただくことがありますが、学生の立会いの際に患者さんの同意を得たり、研修医の立会いについてもプライバシーに関して十分配慮するなど、患者さんの視点に立った対応に努めてまいりますので、ご理解のほどをお願いします。</p>

4 医療安全管理部門（1件）

市民意見	<p>人手が足りないと医療ミスにつながるので、看護師等医療スタッフを増員し、安心して任せられる病院にしてほしい。（1件）</p>
	<p>現中央市民病院では、財政状況が厳しい中でも、現在、既に医療法上の配置基準を上回る数の医師・看護師を配置するとともに、十分なケアができるような体制の整備</p>

市の考え方	<p>とあわせて、医療安全対策を担当する専従職員の配置や、リスクマネジメント部を設置し、医療行為の安全対策の検討や院内事故防止のためのマニュアル作成、職員研修など医療事故防止に向けた取り組みを行っています。</p> <p>新中央市民病院においては、これらの取り組みの強化を図り、医療事故や院内感染を組織として防止できる仕組みを構築し、より安全で安心な病院づくりを目指していきたいと考えております。</p> <p>また、医療安全対策については、病院を運営していくにあたって、最も基本的で重要なことであると認識しており、基本計画（案）の . 部門別基本計画に「<u>5 . 医療安全管理部門</u>」という項目を追加するとともに、基本方針として、「<u>患者の安全性に最大限の注意を払い、医療事故防止に積極的に努めます。</u>」という文言を、主な機能として「<u>患者のための医療相談窓口を充実することや医療事故を公表基準に基づいて公表するなど、再発防止に積極的に取り組みます。</u>」及び「<u>医療事故等の集計・分析・再発防止対策のみならず、他病院での事例に関する情報を収集するとともに、職員への情報提供と医療安全管理のための教育研修を行います。</u>」という文言を加筆し、必要な医療安全管理体制の整備を図っていきたいと考えています。</p>
-------	--

## 5 地域連携部門（15件）

市民意見	<p>地域の医療機関、福祉・介護施設等との連携を推進してほしい。（5件）</p> <p>神戸市民健康増進ネットワークのような構想を創造し、神戸に行けば健康になれると言われるように、神戸市全体として「病気になるない街づくり」「病気が怖くない街づくり」「健康な自治体づくり」を推進してほしい。（2件）</p> <p>市民に地域完結型医療について理解を得るためわかりやすく広報してほしい。（2件）</p> <p>地域連携の推進により、風邪など一般医院でも診る病気の診察は止めて、神戸市の中核病院として専門性の高い、高度な医療の提供に集中してほしい。（2件）</p> <p>地域連携の推進にあたっては、地域医療のレベルアップを旨としてほしい。（1件）</p> <p>地域連携の推進のために、地域の医療機関と病気の経歴や治療の経過、検査情報などが効率的に共有される仕組みを検討してほしい。（1件）</p> <p>地域連携部門にある「逆紹介」「入院患者の退院、転院調整」等は、在院日数短縮を第一義とする新病院側の都合が目立っている。新病院ができることで、新たな連携の下地が俄かに整うはずもなく、病診・病病連携の基盤づくりは新病院計画とは別次元で、地道に、そして真摯に取り組むべき永遠の課題と考える。（1件）</p> <p>通院治療センターの新設とあるが、通院施設は神戸市内にも民間病院が多くを手がけており、市民病院としては、透析患者の合併症に重点を置くべきではないか。（1件）</p>
------	--

市の考え方	<p>近年、一つの病院で発病初期から病気が完治するまで一貫して治療を行う「院内完結型医療」から、手術など高度な技術を集積しより安全で質の高い急性期医療を提供するとともに、急性期を脱してからはより療養環境の良い病院で治療を行う「地域完結型医療」への転換が国全体で進められています。そのためには、地域医療機関等との相互連携が最重要課題であると考えており、今後とも広報活動等を通じて市民理解を求めながら、地道な取り組みを積み重ねていく必要があると認識しています。</p> <p>中央市民病院では、これまで地元医師会や地域医療機関との協働のもと、市民病院の医師と地域医療機関の医療従事者との地域合同カンファレンスの開催 市民病院群と神戸市医師会が共催でお互いに医療連携の研究発表を行う「病診病病連携学術集談会」の開催 地域医療機関からのFAXによる初診予約やCT、MRIの検査予約の推進 中央市民病院の診療情報をまとめた「病院機能案内」の地域医療機関への配布 病院訪問の実施 神戸市医師会在宅医療情報システム「逆紹介」への参画などの取り組みを進めてきました。</p> <p>新中央市民病院では、更に地域医療機関との連携を進めていくために、地域医療機関からの紹介、地域医療機関への逆紹介などの窓口となる「地域医療センター」を患者さんの利便性の高い場所に設置し専門の医師を配置した上で、医療・保健・福祉に関する患者相談や地域医療機関、福祉施設の情報収集及び提供などを行うことにより、「地域完結型医療」を実践する機能の強化を図りたいと考えています。また、将来的には、患者さんの治療情報や検査情報などを、個人情報の保護に十分配慮した上で、地域の医療機関と共有するシステムの構築や、疾病に応じ2人主治医制の導入や地域連携クリニカルパスの導入を地元医師会や地域医療機関とよくご相談しながら検討するなど、様々な手段を用いて連携強化を推進していきたいと考えています。</p> <p>市民の皆様が望む医療は、疾病や病状に応じて初期診療、入院での管理や手術が必要なもの、特に高度な入院治療が必要なもの、長期の療養が必要なものなど様々ですが、地域の診療所や病院との適切な役割分担や連携を図りながら、市民の皆様が必要とする医療を充足できるよう、救急医療・高度医療・急性期医療を重点に担い、中央市民病院が本来果たすべき役割を担っていききたいと考えています。</p>
-------	---

## 6 サービス支援部門（76件）

（患者さんやご家族への対応について）

市民意見	病院職員全員が患者はお客様との発想の下、暖かみのある優しい態度で接したり、親切な説明を心がけてほしい。（3件）
	メンタル面のケアなど患者や家族の視点に立ってサービス面を向上させてほしい。（2件）

	医師と患者のコミュニケーションをとりやすくしてほしい。(1件)
	外来部門の「病気や薬などに関する各種相談室設置」など、患者や家族の立場に立った、ホスピタリティあふれる医療やシステムを取り入れてほしい。(1件)
	なんでも相談できる人が各所にいてほしい。(1件)
市の考え方	<p>質の高い医療を提供していくためには、患者さんとより良い信頼関係を築き、患者さんの立場に立った対応ができる質の高い職員の確保、養成が重要であると認識しています。現中央市民病院においても、患者満足度調査等により患者さんやご家族のニーズを的確に把握するとともに、患者さんの立場に立った対応研修の実施をするなど、患者サービス向上のための改善を図ってきています。</p> <p>新中央市民病院では、患者さんにとってわかりやすい場所に設置する総合案内カウンターや患者医療相談室に、医療従事者を配置し、患者さんを適切な診療科に案内することや、様々な相談に応じることのできる仕組みを検討していきます。その他、患者さんやご家族と医療従事者とのコミュニケーションが取りやすい開かれたオープン形式のスタッフステーションの設置、情報端末を参照しながらの患者さんやご家族への分かりやすい説明を可能にする電子カルテシステムの導入、ボランティアセンターの設置などのボランティア活動への支援の充実などにより、病院全体がホスピタリティにあふれる患者さん本位の医療を提供していきたいと考えています。</p>

(障害者等への対応について)

	受付や売店等に手話通訳者を配置し安心して受診できるようにしてほしい。(21件)
	救急隊員を含め、職員が手話を覚えて対応してほしい。(6件)
	振動により順番を知らせる携帯呼び出し端末のような、障害者でも分かる呼び出しシステムを導入してほしい。(4件)
	カルテにマークをつけるなどの工夫をし、聴覚障害者であると認識してもらえるようにしてほしい。(2件)
市民意見	聴覚障害者にも納得するまで説明してほしい。(2件)
	診察手順・注意事項等を絵や写真、ビデオ放送など目で見て分かる方法で表示してほしい。(2件)
	患者を補助できる係員を配置してほしい。(2件)
	トイレの時など手話通訳が異性だと言にくい時があるので同性の手話通訳を配置してほしい。(1件)
	聴覚障害者が緊急時に連絡できる公共のFAX(有償)を設置してほしい。(1件)
	聴覚障害者のために聴導犬を導入してほしい。(1件)
	字幕付のテレビを設置してほしい。(1件)

	医療専門の手話通訳を病院の各科に配置してほしい。(1件)
	手話の本をカウンターに置いてほしい。(1件)
市の考え方	<p>新中央市民病院では、診察や検査の呼び出しを音や振動で知らせることや、液晶画面に行き先を表示させることの出来る誰にでも分かりやすい携帯呼び出し端末等の導入を行う。今まで以上にボランティアが活発に自発的活動のできる場を提供するなどにより、障害のある方も含めたすべての患者さんやご家族の方にとって快適な院内環境の整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>また、救急隊員については、聴覚障害者向けの「救急対応カード」や「手話通訳者派遣登録名簿」を救急車に登載しており、現場ではカードを活用した筆談で対応したり、必要に応じて手話通訳者を派遣する体制を整備しています。</p> <p>なお、患者さんにやさしい患者さん本位の医療を提供するためには、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、院内で働く職員に対する対応研修の実施や、理解しやすいようにデザインされた案内サインの設置などの施設整備が重要であると認識しており、基本計画(案)の6.サービス支援部門(2)主な機能 患者サービスの記述に「<u>診察や検査については、絵や写真による診察方法等の表示をするなど、すべての人が安心して診察を受けられるよう必要な整備を行います。</u>」という文言を加筆し基本計画を具体化する中で十分検討させていただきたいと考えています。</p>

(患者さんに応じた対応について)

市民意見	<p>夜型・昼型など患者の体質や行動様式は千差万別である。類似体質患者を同室にしたり、病室の変更を行ったり小まめな配慮をしてほしい。(1件)</p> <p>患者セグメンテーションを行い、患者の利便性を第一に考え、患者はお客様との発想で臨んでもらいたい。(1件)</p> <p>土日にも外来診療を行ってほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>病院は治療の場であり医療に対する配慮が最優先となりますが、患者さんの行動様式・生活様式等は千差万別であり、患者さんの個々の事情にできるだけ対応していくことも重要であると認識しております。</p> <p>新中央市民病院では、患者さん本位の医療を提供するために、個室の増加に努めることや、施設等についてできるだけ柔軟な運用を図ることにより、患者さんやご家族の利便性やプライバシーへの配慮に努めていきたいと考えています。</p> <p>また、土日の外来診療など様々な患者さんのニーズや課題などを適宜把握に努め、できるだけ患者さんの行動様式・生活様式に応じたより最適な治療環境の提供に努めていきたいと考えています。</p>

(支払い方法の改善について)

市民意見	診察代のクレジットカード払いへ対応してほしい。(1件)
	例えば、地下鉄・ポートライナーなどとカードを共通利用できるなど、支払いを1つのカードで一元的にできるようにしてほしい。(1件)
市の考え方	<p>従来自治体病院においては、地方自治法上クレジットカードの利用は原則的として認められておりませんでした。クレジットカードが利用可能となる地方自治法改正や患者さんのニーズを踏まえ、今後導入について検討していきたいと考えています。</p> <p>また、自動精算機の設置や、多様な機能を備えたカードの利用による決済手段の導入についても、患者さんの利便性の向上の観点からいただいたご意見を参考に検討していきたいと考えています。</p>

(ボランティアについて)

市民意見	サービス支援部門ではボランティア支援としてセンターの設置が謳われているが、具体的にどのようなボランティアを考えているのか。(2件)
	必要な研修を行ったうえでボランティアを活用してほしい。(1件)
市の考え方	<p>ボランティアについては、現中央市民病院においてもボランティアコーディネーターを中心にオリエンテーションを経た上で、外来の案内や介助、生花・園芸植物の世話、マジック等のレクリエーション、図書ルームの運営などで活躍していただいています。</p> <p>新中央市民病院においても、ボランティアセンターを設置し、ボランティアが活動しやすい環境を整えるなど、引き続きボランティアの積極的な支援を行っていきます。</p> <p>また、ボランティアは、あくまで自主的な活動を支援するものであり、病院の仕事を肩代わりしていただく性質のものではありませんが、病院ボランティアとしての性格上、病院の理念、患者さんの権利、適切な介助方法など患者さんと接していただく上で必要な内容について研修の充実に努めていきたいと考えています。</p> <p>なお、基本計画(案)の6.サービス支援部門(2)主な機能 ボランティア支援の「ボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け入れを行います。」という記述を「<u>ボランティアセンターを設置し、ボランティアを受け入れ、病院で患者と対応するにあたり必要な知識等についての研修の充実に努めます。</u>」と文言を加筆し、今後もボランティアに対する適正な支援を行っていきたいと考えています。</p>

(薬の副作用に関する研究について)

市民意見	薬の副作用に対する研究に力を入れてほしい。(1件)
市の考え方	<p>新中央市民病院では、薬剤情報センターを設置し、最新の医薬品に関するデータの収集整理、データベース化を図ることにより、医師や患者さんへの情報提供を充実させていきます。</p> <p>薬の効果は、患者さんごとに個人差があるので、より質の高い患者さん本位の医療の提供を行うために、薬剤部門では、医療情報システムを活用した患者さんの投薬情報管理により、薬剤の併用禁忌などのチェックをより徹底させるなど、薬剤師の専門性を発揮し医療の安全性向上を図ります。</p>

(診療情報の提供について)

市民意見	カルテの電子化や、ITの活用により自宅からカルテを閲覧できるようにしてほしい。(2件)
市民意見	診断の内容を口頭で教えてもらうだけでなく、文書や電子データの形でいただきたい。(2件)
市の考え方	<p>治療は医療従事者と患者さんとの共同作業であり、検査結果や治療内容などに関する十分な説明を行い、患者さんのご理解を得て進めていくことが必要であると認識しています。現中央市民病院では希望される患者さんに対して診療録を閲覧していただくいたり必要に応じて写しを提供しています。新中央市民病院では医療情報システムのネットワークを構築し、医療従事者間で情報共有を図るとともに、情報端末を参照しながら患者さんやご家族に診療内容を分かりやすく説明できるようにするなどICTの活用を進めます。また、電子データでの情報提供については、患者利便性の観点からだけでなく、医療安全や地域連携の充実といった観点からも考慮すべき重要な点であると認識していますが、自宅からのカルテの閲覧などインターネットを介してのサービスについては、提供する情報の範囲や本人確認の方法等を十分考慮した上で慎重に検討を進めていく必要があると考えています。</p>

(他の医師の意見が聞ける仕組みについて)

市民意見	院内でセカンドオピニオンが得られないか。(1件)
市の考え方	<p>治療は医療従事者と患者さんとの共同作業であり、検査結果や治療内容などに関する十分な説明を行い、患者さんのご理解を得て進めていくことが必要であると認識しており、現中央市民病院においても、インフォームドコンセントの充実に努めています。</p> <p>また、入院されている患者さんの治療方針については、原則として診療科の全ての医師が参加するカンファレンスにおいて診療科の方針として決定しております。さらに、院内各所に掲示している「患者の権利章典」の中で、医療内容について他の医療機関の医師の意見を求める権利があることを明記しており、患者さんのご要望がある場合は適切な対応に努めています。</p> <p>今後も引き続きインフォームドコンセントの重要性を認識し、見識を持った優秀な医師の確保を図るとともに、患者さんに十分な説明を行い納得していただいた上で、最適な医療の提供に努めていきたいと考えています。</p>

(市民の健康施策の充実について)

市民意見	治療するだけでなく市民の健康管理・疾病予防に積極的に取り組んでほしい。(1件)
市の考え方	<p>市民の皆様の健康管理・疾病予防としては、現在も市民の皆様を対象に「糖尿病教室」「心臓病教室」などの講演会を院内で開催し、市民の皆様の健康づくりのための取り組みを行っています。</p> <p>新中央市民病院では、これらの市民の皆様や患者さんを対象にした講演会や健康教室に加え、患者さんをはじめ市民の方が利用しやすい場所に市民健康ライブラリーを設置し、診察の待ち時間などに本やパソコン、映像などを利用し、病気や治療に関する知識を自己学習できるような場を提供したいと考えています。</p> <p>今後、がん、心臓病などの生活習慣病がさらに増加していくと考えられ、健康管理や疾病予防を図るためには、自分自身の健康状態を理解し、適切な生活習慣を身につけ、主体的に取り組むことが重要であり、健康教室等の運営にあたっては地域の医療関連団体や患者ボランティア団体等の協力を得ながら充実を図っていく必要があると認識しています。</p>

	<p>このため、基本計画(案)の6. サービス支援部門(2)主な機能 患者サービスの「市民・患者を対象にした講演会や健康教室を開催します。」という文言の前に「地域の医療関連団体等と連携を図りながら、市民の健康管理・疾病予防に取り組み、」という文言を加筆し、健康管理や疾病予防に関する情報提供の充実に努めていきたいと考えています。</p>
--	--

(利便施設等の充実について)

市民意見	<p>民間事業者の創意工夫やノウハウを活用することで、患者や見舞い客のための売店や飲食施設などを充実させてほしい。(2件)</p>
	<p>病室から売店に物を注文できたり、洗濯を業者をお願いできたりするシステムを構築してほしい。(1件)</p>
	<p>病室でゆっくりテレビを見られるように機種や価格設定を検討してほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院では、患者さんやご家族の視点に立ち、安心して治療や診断が受けられるような環境整備を行いたいと考えており、患者さんやご家族にとって利用しやすい売店や飲食施設などを設置したり、院内売店への注文、商品の購入が可能となるベッドサイド端末を設置するなどにより、患者さんの利便性の向上を図っていききたいと考えています。</p>

(駐車場について)

市民意見	<p>患者・家族が、自家用車を利用するケースは多くなると思うので、十分な駐車場の確保と納得できる料金体系を確立してほしい。(2件)</p>
	<p>ハイルフ対応の車路高さ及びゆったりした車路巾を確保するなど、駐車場対策を充実してほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>現中央市民病院では、身障者用5台を含む221台分の駐車場を確保しておりますが、外来患者さんの集中する午前中には駐車場の在庫待ちが生じている状況です。また、駐車場の利用については、外来患者さん等の無料時間を最初の30分から1時間に延長するなど、患者サービスの向上に努めているところです。</p> <p>新中央市民病院では、基本計画(案)にもお示ししているとおり、駐車場を現病院の倍の約400台に増やし、駐車待ち時間の短縮を図るなど、公共交通機関の利用が困難な来院患者数に応じた、適正な駐車台数の確保を行います。</p> <p>新中央市民病院でのより具体的な施設概要や料金体系については、いただいたご意見も参考に、今後基本計画を進めていく中で、ユニバーサルデザインの観点から、利用しやすい病院となるような配慮や工夫を検討していききたいと考えています。</p>

(広報について)

市民意見	インターネットを使えない人のためにテレビなど別のメディアを使ってもっと病院の広報をしてほしい。(1件)
市の考え方	テレビなどを利用した病院の広告については、医療法第69条等の規制があり、病院の名称、診療科名、医師の氏名等を除く広告が制限されています。インターネットを活用したホームページの公表は、現行法上の制約が比較的緩やかであり有効な広報手段の1つと考えておりますが、ホームページ以外にも各種パンフレットやチラシなど様々な手段で病院の案内や行事の紹介等を行っています。また、広くお知らせすべき事柄については広報こうべを用いてお知らせしております。今後も、費用や情報の即時性といった観点から、患者さんに応じたきめ細かい広報を、いただいたご意見を参考にしながら充実させていきたいと考えています。

## ・施設基本計画（70件）

（癒しと安らぎのある療養環境について）

市民意見	<p>現在、死亡退院する際には薄暗い地下の裏口のようなところから退院させているが、亡くなった方を見送るにふさわしいデザインの死亡退院専用の出口を作ってほしい。（1件）</p>
	<p>小児科・小児病棟について、子供達が少しでも安心して明るく診療や治療が受けられるような雰囲気やデザインのある病院づくりを行ってほしい。（1件）</p>
	<p>患者サービスを重視した外来や病棟の設置を実現してほしい。（1件）</p>
	<p>待合室の空間、色調、照明、音楽など患者の快適性を追及してほしい。（1件）</p>
	<p>患者にとって家庭に近い環境で医療を受けることのできる病棟であってほしい。（1件）</p>
	<p>患者家族の心を少しでも和ませる環境をつくるためにも手術室・ICUの待合はゆとりのあるスペースとし、できれば窓を設けてほしい。（1件）</p>
市の考え方	<p>癒しと安らぎの療養環境の整備とあるが、「賚の河原」とまで酷評されたポーアイ2期の無機質な土壌、それに産業振興と隣り合わせの環境が、病に疲れた神戸市民が身を横たえ、やがてリフレッシュして社会に復帰するための場所としてふさわしいとは思えない。（1件）</p>
	<p>現中央市民病院建設の際は、医療の効率性、機能性や安全性を優先し、職員動線の短縮化、病棟における患者さんへのアイコンタクトの確保などの工夫を行いました。しかし、社会のニーズの変化とともに、患者さんのプライバシーに対する配慮や癒しと安らぎの環境づくりといった点が強く求められています。新中央市民病院の整備にあたっては、効率性、機能性や安全性だけではなく、患者さんやご家族の視点に立ち、快適で利便性の高い療養環境を有した病院づくりをめざし、次のような工夫を図っていきたいと考えています。</p> <p>亡くなられた患者さんやそのご家族のための霊安室やご遺体を搬送する出口などの位置やデザインについては、お見送りにふさわしいものとします。</p> <p>小児用の診察室や病棟では、子どもの心理に配慮し、診療や検査及び入院生活の不安を和らげられるような‘楽しさや遊び’のデザインなどを導入し、療養環境の充実に努めます。</p> <p>患者さんやご家族、医療従事者などが快適に過ごせるよう、家具を含めたインテリアについてはデザイン、色彩、照明などをトータルにコーディネートするとともに、患者さんやご家族が心やすらぐことのできるアートワークやオブジェなどを計画的に導入します。</p> <p>院内それぞれの場所に応じた照明照度の設定やBGMの導入などを行うとともに、病棟の多床室においては、ベッドごとに個別に調節できる空調設備や照明器</p>

	<p>具を設置するなどを行い、快適に過ごせるような環境の確保に努めます。</p> <p>病室や検査室などでは、医療ガス配管設備や医療器具が直接目に触れない工夫や、天井照明が直接視線に入りにくい工夫を行うなど、できるだけ患者さんが不安や不快に感じることなく治療を受けられる環境の整備に努めます。</p> <p>建物内外の仕上げ材には、できるだけ自然を感じさせる材料を適切に使用し、親しみやすさや暖かさ、柔らかさを感じさせるものとします。</p> <p>敷地内には患者さんやご家族、その他の来院者が憩える緑地を整備するとともに、屋上庭園など建築物の緑化にも積極的に取り組みます。建物内においても、自然光や緑が豊かな、うるおいのある空間となるように配慮します。</p> <p>これらを通じて、アメニティ豊かな空間を整備し、「癒しと安らぎの環境」を実現していきたいと考えています。</p>
--	--

(プライバシーに配慮した設計について)

市民意見	施設の設計にあたっては、患者のプライバシーに十分配慮してほしい。(1件)
	通路か待合かわからないようなところで外来患者を待たせるのではなく、静かでプライバシーにも配慮した待合室をつくってほしい。(1件)
	入院患者が外来患者や一般の人に見られないように、エレベーターを分けるなどプライバシーに配慮した構造にしてほしい。(1件)
	通院治療部門は、付き添いの人のために広さに余裕を持たせるとともに、近くの患者の話の聞いて不安にならないようにプライバシーに配慮してほしい。(1件)
市の考え方	<p>新中央市民病院では、患者さん本位の視点に立ち、患者さんやご家族のプライバシーに十分配慮した施設としたいと考えています。</p> <p>具体的には、外来部門と病棟部門の配置を工夫し、外来患者と入院患者の動線をできるだけ分離したいと考えています。また、電光掲示等による呼び出し案内は、個人が特定できないような番号表示等による方式にするとともに、診察室は扉を設けた個室とするなどにより、患者さんのプライバシーの確保を図ります。</p> <p>病室についても、患者さんやご家族の利便性やプライバシーに最大限配慮し、個室割合の増加に努めることや、多床室は個室感覚のあるものとするなどの配慮を行うとともに、病室入口の患者名表示についてもプライバシーに配慮した方式とします。また、病院内の各所に面談・相談室を適切に設置するとともに、通院治療センターなどについても患者さんやご家族のプライバシーにできるだけ配慮した施設整備を進めていきたいと考えています。</p>

(個室の充実について)

市民意見	治療に専念できるよう全室個室にしてほしい。(1件)
	患者のプライバシーや人権尊重の観点、院内感染防止の観点から新病院では個室を増やしてほしい。(1件)
	庶民の入れる値段の個室を多くつくってほしい。(1件)
	個室的多床室は、建設コストはかかるし、将来の間仕切り変更に対応しにくいし、奥のベッドには申し訳程度にしか窓はなく、中途半端である。個室と一般の4床室、ないしかつてヨーロッパであったナイチンゲール病室で十分である。(1件)
	重症患者や家族の精神的な圧迫感等にも十分配慮したうえで、個室的な環境の整備に可能な限り取り組んでほしい。(1件)
	2ヶ月間入院した経験から、医療の質・治療効果を高めるためには、個室が基本であると思う。(1件)
市の考え方	<p>患者さんやご家族の視点に立った病院づくりのためには、患者さんのプライバシー確保やより一層の療養環境の充実、利便性の向上などが望まれており、これからの病院の病棟は個室が中心となっていくと考えられます。しかし一方で、個室が増加することにより病棟の面積や廊下の長さが増大し、看護動線が長くなる、患者さんの容態の急変に気づきにくくなるなど患者さんのケアを行う上での問題点もあります。</p> <p>新中央市民病院ではこれらを考慮しながら、個室の増加に努めることや、個室感覚のある多床室とすることなどの配慮を行っていきたいと考えています。また、将来の個室需要の増加にも対応していけるよう、多床室については容易に個室化が図れるような工夫を行いたいと考えています。</p>

(患者動線等の改善について)

市民意見	検査ごとのフロアをまたがる移動の解消など一般患者にとっての利用しやすさに配慮してほしい。(2件)
	車イスに乗っている人、杖で歩いている人、酸素ボンベをもって歩いている人などに配慮して、エレベーターを増やしたり、効率的な部門配置をすることにより、動線が短くてすむように配慮してほしい。(2件)
	エレベーターを広くしてほしい。(1件)
	エレベーターを効率よく運行させたり、階段の場所を明示するなど院内での患者の動線を今より改善してほしい。(1件)
市の考え方	<p>現中央市民病院では、中央エレベーターに人の流れが過度に集中することにより、時間帯によっては相当のエレベーター待ち時間が発生しているほか、病棟部門の床荷重や診療部門の柱間隔(スパン)や耐震壁といった構造上の制約のため、診断や治療に必要な部屋が院内各所に分散し、患者さんに長い距離や上下階への移動をしていただいているなどのご不便をおかけしています。</p>

	<p>新中央市民病院では、患者動線に最大限配慮した、分かりやすく効率的な動線計画や部門配置を行いたいと考えています。原則として、患者さんやご家族などの来院者と医療従事者等の動線を適切に分離し、患者さんやご家族などの来院者が利用しやすい病院にするとともに、医療従事者などにとっても機能的で働きやすい病院となるように努めます。</p> <p>エレベーターについても、外来患者用と入院患者用の分離、あるいは、ベッド搬送用や医療従事者用の分離を考慮したものを適正台数設置し、患者さんや医療従事者などの利便性向上を図るとともに、緊急時にも迅速な対応が可能なものとしします。また、受付・会計、診察、検査、画像診断などの外来各部門は、配置上の工夫により患者動線をできるだけ短くするとともに、エスカレーター、エレベーター、階段などを適切に配して、移動による患者さんの負担を軽減するように努めます。</p>
--	--

(ユニバーサルデザインについて)

市民意見	<p>高齢化社会に対応した設備の充実が必要だと思う。( 2 件 )</p> <p>誰でもわかる案内表示をしてほしい。( 2 件 )</p> <p>車椅子 2 台がスムーズに通れる幅の廊下にしてほしい。( 1 件 )</p> <p>市民・利用者の立場に立った、ユニバーサルデザインを取り入れた施設にしてほしい。( 1 件 )</p> <p>床にカラーの線引きをするなど色や番号でわかりやすい表示をしてほしい。( 1 件 )</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院の整備にあたっては、高齢者、障害者をはじめすべての利用者にとって安全で快適な環境づくりをめざすユニバーサルデザインの考え方をもとに施設整備を行います。</p> <p>トイレ・浴室ユニット出入口などの院内段差を無くし、車椅子やストレッチャーが容易に通行できる廊下幅や出入口幅を確保するとともに、誰もが使いやすい多目的なトイレの設置など、病院全体のより一層のバリアフリー化を推進します。</p> <p>また、歩行者と自動車の動線を適切に分離するなど、施設への安全で円滑なアクセスを確保するとともに、各施設・設備の利用しやすさ、移動しやすさなどに配慮し、患者さんやご家族などの来院者や医療従事者などにとって分かりやすく使い勝手の良い施設づくりに努めます。</p> <p>院内の誘導・案内は、携帯端末による呼び出し案内システムや院内各所に液晶パネルや電光掲示板等による呼び出し表示などを行い、利便性の高い患者案内システムを構築します。案内サイン等は、患者さんやご家族などの来院者に分かりやすいものとなるよう、図形や絵を用いたデザインを採用するとともに、原則として4カ国語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語)表示とします。これらを適切な位置に計画的に設置するとともに、アートワークやオブジェ、インテリアデザイン、色彩計画、照明</p>

	計画などとも連携させ、患者さんやご家族にとって、分かりやすい誘導・案内を行っています。
--	---

(障害者等に配慮した施設について)

市民意見	呼び出しや待ち時間などを表示する電光掲示板等を設置してほしい。(11件)
	レントゲン・CT・MRIなどの検査時に、「息を止める」「終了」などを知らせるランプを設けてほしい。(3件)
	手話通訳者が配置されたときには、「病院内に手話通話者がいます」とはっきり表示等でわかるようにしてほしい。(1件)
市の考え方	<p>新中央市民病院では、病院全体のより一層のバリアフリーを推進していくことはもちろんのこと、すべての利用者にとって安全で快適な環境づくりをめざすユニバーサルデザインの考え方をもとに施設整備を行っています。</p> <p>携帯端末の画面表示や音声、振動などで診察・検査・会計を案内する設備(ページングシステム)の導入や、各所で液晶パネルや電光掲示板等による呼び出し表示を行うなどにより、利便性の高い患者案内誘導システムの実現を図ります。さらに、高齢者や障害者などへの一層の案内性向上のため、ICTの活用を図り、携帯端末などをより有効に利用した案内システムの導入も検討していきたいと考えています。</p>

(神戸らしい建物のデザインについて)

市民意見	神戸らしい、美しいデザインの建物にしてほしい。そしてそれを維持管理してほしい。(2件)
	神戸空港が新しい神戸の玄関口として注目されているので、新病院も海側からも見て神戸のシンボル(「医療に力をいれている都市」「アジアをリードする病院」といったような)となるような建物にしてほしい。(1件)
	施設・設備・備品についてはデザインにも配慮し、神戸の美しい景観にふさわしいものとなるよう、また医療産業都市構想のランドマークとなるように検討してほしい。(1件)
市の考え方	<p>新中央市民病院の整備にあたっては、医療産業都市構想の臨床部門の核としてふさわしい、市民や医療従事者などが誇れる、神戸らしい病院づくりをめざします。あわせて、神戸の空の玄関口である神戸空港に近接した立地を生かし、神戸の新しい顔となるようなシンボル性を備えた施設にする必要があると考えています。</p> <p>今回の整備事業では、民間のノウハウを最大限に活用することを前提としたPFI方式の採用を予定しています。施設の設計及び建設を行う民間事業者は、総合評価一般競争入札方式により選定されます。選定にあたっては神戸らしいデザインや建物のシンボル性などについて提案を求めるとともに、この点の評価ができるような工夫に</p>

について検討していきたいと考えています。
----------------------

(災害に強い病院について)

市民意見	ポートアイランド第2期では地震が起これば地盤沈下・液状化は必至であり、役に立たないであろう。また、大津波にもどう対処するつもりなのか。来るべき南海大地震に対応できるのか。(5件)
	災害に強い病院・医療機関にしてほしい。(2件)
	阪神大震災を踏まえて新病院はポートアイランドのような人工島ではなく地続きで災害時でも歩いていけるとところに建てるべきである。(1件)
	災害発生時にも復旧が早いオール電化の病院にしてほしい。(1件)
	大災害時のアクセスが完備されていない。道路は一本追加されたが本土側のアプローチが接近しすぎて複数ルートが確保されているとはいいいがたいと思う。(1件)
	阪神大震災の教訓をいかした災害時に対応できる病院というのは、とても心強い。(1件)
	トリアージの充実や、非常用ベッド、医薬品、食料品等の備蓄スペースの整備など説得力のある策を示してほしい。(1件)
市の考え方	<p>阪神・淡路大震災以降、ポートアイランドへのアクセスについては、港島トンネルの完成により、構造の異なる複数のルートが確保されていると考えています。</p> <p>新中央市民病院の移転予定地では、沈下対策として地盤改良工事を実施しており、また、埋立概成後約15年が経過していることから、建物に影響をあたえるような沈下は発生しないと考えています。</p> <p>また、ポートアイランド第2期の主な埋立土は粒度分布が広範囲にわたり、液状化しにくい土砂を使用しています。先の震災においても当該地では液状化による噴砂現象はほとんど見受けられませんでした。</p> <p>津波等については、東南海・南海地震が同時発生し、さらに満潮時に重なった場合の津波の高さは、標高(TP)2.5m程度と想定されています。また、台風時に発生する高潮の最大潮位は、標高(TP)2.8m程度と想定されています。これに対して、新中央市民病院の移転予定地の地盤高は標高(TP)6m程度で十分な高さを有しており、これらの影響はないと考えています。</p> <p>新中央市民病院では、免震構造を導入し、大地震発生時における建物本体の振動を抑制し、設備機器・医療機器などの損傷・転倒を防止するとともに、ライフラインの二重化を行い、院内の患者さんや医療従事者などの安全確保、医療活動の継続性確保を図ります。また、浸水被害防止のため、医療上必要な機能を有する諸室については地下階に設けないよう配慮します。</p> <p>さらに、災害拠点病院として、直通エレベーターを備えたヘリコプターの屋上緊急離着陸場を整備するとともに、屋外には、トリアージ等の災害時活動スペース、屋内</p>

	<p>には、会議室等を転用して 300 人程度収容できるスペースや医薬品・食料品などの備蓄スペースを確保します。このほか、停電時の非常用電力供給設備には、非常用発電機、無停電電源装置、蓄電池などを適切に組み合わせリスク分散を図るとともに、消防や防災関係機関及び市民病院群間の連携を図るため、防災行政無線などの信頼性の高い通信手段を確保します。</p> <p>これらを通じて、新中央市民病院は、市民の安全と安心を担う神戸市の基幹病院として、自然災害のみならず大規模事故災害などに対しても、機能を十分に発揮し、迅速な対応が行える施設を整備します。</p>
--	---

(感染症対策について)

市民意見	<p>新型コロナウイルス対策は自治体の施策として理解できるが、感染の拡大の危険性を考えると場所を離れたほうがよいと思う。(1件)</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院では、高度専門医療センターのひとつとして「感染症センター」を設置運営する予定です。このセンターでは、現中央市民病院と同様に第一種及び第二種感染症指定病院として保健所や地域医療機関等と連携を取りながら、従来の感染症のほか、鳥インフルエンザ、SARSなどの新興感染症からも万全の体制で市民の生命を守っていきたいと考えています。感染症対策には感染症エリアを完全に隔離し、感染の拡大を防ぐことが必要です。このため、このセンターには専用の入口・受付・診察室・病棟を整備し、患者さんの動線や空調設備等を完全分離した建物構造として、細菌やウイルス等を封じ込め、拡散を防止し、安全に感染症対策に取り組める施設づくりを行っていきます。</p>

(環境にやさしい病院について)

市民意見	<p>環境にやさしい病院にしてほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>21 世紀にふさわしい病院として、施設の計画・建設・運営を通じて自然環境・地球環境の保全の一端を担い、環境にやさしい病院づくりを行っていきたいと考えています。施設の整備にあたっては、省エネルギー化・省資源化や自然エネルギーの活用に努め、環境負荷軽減や地球温暖化防止を図るなど「環境共生都市」の実現に資する取り組みを進めます。</p>

	<p>庇やバルコニー設置による日射の制御や遮蔽、窓や外壁における断熱性の高い材料・工法の採用、敷地内や屋上の緑化、透水性舗装の採用などにより、建物の熱負荷軽減やヒートアイランド現象の抑制に取り組みます。また、自然採光や植樹・緑化、自然通風・換気など、自然の資源の積極的な活用を検討し、環境との共生を図るとともに、再利用材料など環境にやさしい材料の採用に努め、施設建設時にも廃棄物排出量を抑制する工法を採用するなど、省資源化やリサイクルに努めます。</p> <p>設備については、病院としての建物の特性を十分に考慮し、電気や都市ガス、太陽光などの自然エネルギーを適切に組み合わせ、効率的、経済的、かつ環境に配慮したエネルギーシステムを構築するとともに、雨水利用などにも取り組みます。また、高効率熱源機器や各種制御機器を導入し省エネルギー化に取り組むとともに、施設完成後も病院内の各部門のエネルギー使用量を常時計測・把握し、運転・制御の最適化を図っていくなど、総合的・継続的なエネルギーのマネジメントが行えるようなシステムを導入します。あわせて、ISO14001 の認証取得を行うなど、環境に配慮した病院運営にも取り組んでいきます。</p>
--	--

(無菌室について)

市民意見	無菌室・準無菌室を増やし、また、4人室でも準無菌室に変更できる設備を設けてほしい。(1件)
市の考え方	<p>市民の生命と健康を守る神戸市の基幹病院として、白血病、リンパ腫、悪性貧血、骨髄移植等の患者さんに対しても安全で適切な治療を行う必要があり、そのために無菌室や準無菌室の設置は重要であると考えています。一方で無菌室・準無菌室は、高性能な空気清浄装置や専用の面会通路などを設置する必要がある重装備な病室であり、構造上一般の病床としてフレキシブルに使っていくことができない病室でもあります。新中央市民病院ではこれらのことを勘案しながら、無菌室・準無菌室の拡充や各病棟の重症患者用の個室のクリーン度の向上を図るなどについて検討していきたいと考えています。</p>

(トイレについて)

市民意見	<p>トイレの手洗い場所に温風乾燥機を設置してほしい。(1件)</p> <p>トイレを病室から近いところに配置し、点滴していたり車椅子に乗っていたりしても動きやすい十分なスペースを確保してほしい。(1件)</p>
------	--

市の考え方	<p>新中央市民病院では、患者さん本位で利便性が高く、より安心して治療や診断が受けられる病院づくりをめざしています。</p> <p>バリアフリーの推進やユニバーサルデザインの考え方により車椅子利用者だけでなく誰でも使いやすい多目的なトイレを病院内の各所に設置します。病棟のトイレについては、原則として病室ごとに配置します。また、清潔保持や院内感染防止などの点からも、手洗器、乾燥機等の衛生器具については非接触型の機器を積極的に導入していきます。</p>
-------	--

(建物の長寿命化と施設メンテナンスについて)

市民意見	<p>事業期間30年とは短すぎる。30年後にまた建替えるということなのか。(1件)</p> <p>施設設計にあたっては、将来の拡張や機能向上に十分配慮してほしい。(1件)</p> <p>恒久とは言わないまでも後々のメンテナンスで良好な病院環境を維持し、また日進月歩の技術革新に対応できる建築・システムの導入をしてほしい。(1件)</p> <p>築年数と共に劣化しにくい長期的視野に立った食堂・トイレを整備してほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院では、医療技術の進展や医療環境の変化などの「成長と変化」に対応できるよう、弾力的な運用が可能な病院をつくりたいと考えています。そのためには、「成長と変化」に対応した構造、「成長と変化」に対応できるスペースの確保、建築・設備の長寿命化が必要であると考え、以下のような配慮を行います。</p> <p>「成長と変化」に対応した構造</p> <p>24時間稼働している病棟部門と医療上の成長と変化が著しい画像診断、診療部門などが相互に干渉せず、将来的に増改築・改修が行いやすい建築構造を実現します。</p> <p>また、将来の医療技術の進歩や医療環境の変化等にできるだけ柔軟な対応ができるよう、柱間隔を広くすることや耐震壁をなくすなど、可変性の高い建築構造に取り組みます。</p> <p>「成長と変化」に対応できるスペースの確保</p> <p>建物周囲には、増築等の将来拡張スペースを確保します。</p> <p>また、建物内においても、設備増設などに対応できるような予備スペースの確保に努めます。</p> <p>建築・設備の長寿命化について</p> <p>建築物については耐久性の高い構造材・内外装材を採用することはもちろん、設備機器、配管材料等については長寿命が期待できる材料を使用し、大規模な修繕や更新の負担の軽減化、メンテナンスフリー化を図ります。</p> <p>また、施設の建設から維持、撤去までの総事業費が最小となるように、合理的な</p>

	<p>建築部材や設備機材、工法の選定を行うとともに、適切な維持管理を計画的に行います。</p> <p>これらを通じて病院施設の長寿命化と成長と変化への対応を実現したいと考えています。</p>
--	---

## ・整備手法（２３件）

（P F I方式の導入について）

市民意見	P F I方式は時宜にかなったものである。民間の知恵と中央市民病院の高度な医療機能をうまくミックスさせ、従来の枠にとらわれない発想のもとで新病院整備を具体化してほしい。（４件）
	財政難の中、P F I方式を導入し、出来るだけ少ない費用で、良い病院をつくることは非常に有意義である。（３件）
	民間事業者の創意工夫を活かし、効率的な運営を行なってほしい。（３件）
	P F I方式は、長く高額な費用を支払い続けることになり、民間事業者が得をするだけではないか。（２件）
	民間事業者は利益を求めるものであるため、P F I方式の導入は、市民に必要な医療が十分に提供できなくなる可能性があり、危険ではないか。（２件）
	P F I方式での病院整備は破綻しやすく、結局市が赤字を負担することになるのではないか。（１件）
	P F I方式により、民間事業並みのスピードで整備され、早期に開院されることを期待する。（１件）
	B T Oで８％のV F Mが見込まれるのであれば、P F I方式を導入すべきであるが、効率性だけでなく、患者サービスにも十分注意すべきである。（１件）
従来の公共サービスでは足りなかった、それぞれの患者の視点に立った支援を、民間事業者のアイデアを活かして提供してほしい。（１件）	
市の考え方	<p>新中央市民病院の整備手法を検討するにあたっては、他病院の先行事例調査や民間事業者へのヒアリングを踏まえたうえで、事業期間中ずっと時代のニーズにあった最適な患者サービスが提供できるか、維持管理・運営までを含む事業全体としてどれだけの効率化が図られるか、といった視点から、設計・施工等を個別に発注する「従来方式」と、設計を含む施設整備に加え運営の一部までを包括的に委託する「P F I方式」の各々の方式について定性的・定量的評価を行いました。</p> <p>その結果、P F I方式で実施することで、行政サービスだけでは限界のある、高いレベルの患者サービスに対して、民間事業者の経験や知識の導入により、患者満足度の向上が期待できる、設計・施工業務と、施設の維持管理や物品・物流管理などの業務を一体的に発注することで、施設整備後に実務を担う業者の意見が十分に反映された建物が整備できる、これまで個別発注していた細分化された様々な業務を包括的に発注することで、スケールメリットが発揮され、業務の効率化が図られる、受託する民間事業者にとっても、従来の単年度契約では困難であった、長期事業期間を視野に入れた人材の確保や育成を行うことができ、事業期間中の安定したサービス</p>

	<p>水準が確保できる、などの効果と併せて、事業期間全体を通じた財政負担の低減（約8%）も期待できると判断し、PFI方式の方が妥当であると考え、基本計画（案）の中でお示ししているところです。</p> <p>なお、病院PFI事業においては、施設整備や運営の一部に民間のノウハウの活用を図りながら、病院経営については、従来どおり開設者である市が行います。また、医療行為については、医療法等の法令上の制約があり、PFI方式を導入しても、民間事業者へ委託することはできず、これまでどおり、市が責任を持って行うこととなるため、市の基幹病院として、市民の生命と健康を守るという役割は変わらないことについて、十分ご理解いただきたいと考えています。</p>
--	--

(事業期間におけるサービス水準の確保について)

市民意見	<p>医療情報システムの保守管理の事業期間は5年間となっているが、30年間の業務期間に対する何らかの取り決めが必要ではないか。(1件)</p> <p>30年もの事業期間では、民間事業者の負担が大きく、サービスの質が低下していかないか危惧される。期間の短縮か、定期的な見直しを行えるようにすべきではないか。(1件)</p> <p>「その他病院運営業務」をPFI業務範囲に含めることは、解釈次第では、病院経営に深く関わる部門を、一社寡占状態で民間事業者へ長期に委ねることとなり、公共性確保の視点から大きな不安材料である。(1件)</p>
市の考え方	<p>病院PFI事業では、従来の単年度ごとの契約と比べ、長期契約による計画的な施設維持管理や運営が期待できる一方、技術の進歩や求められるサービス水準の変化にいかに対応していくかが課題であると言われてしています。</p> <p>新中央市民病院の施設維持管理・運営においては、病院施設の平均耐用年数やコスト試算の結果なども踏まえ、開院後30年間の事業期間としていますが、特に技術の進歩が早い医療情報システムや医療機器の更新・保守管理業務については、業務範囲からはずしたり、事業期間を短く設定するなどの工夫をしています。</p> <p>また、市と民間事業者によるセルフモニタリングのほか、定期的な患者アンケートなどの第三者モニタリングや他病院のサービス水準の調査などを行い、時代のニーズに合った水準を常に把握したうえで、状況に応じて業務内容や価格を見直すなど、適正なリスク分担が行えるような仕組みを検討し、長期事業期間中の適切なサービス水準の確保を図っていきたいと考えています。</p> <p>なお、医療情報システムは技術進展が著しく、システム水準や保守管理費を当初契約で全て明確にすることは困難なため、システムの保守管理は当初5年間とし、6年目以降については、それまでのシステム保守管理業者を含めた複数の業者から、新たなシステムの整備・保守管理に関して提案を受けることを考えています。</p>

	システム移行を図るために、システム更新時における最新情報の提供や選定支援など、システムのマネジメント業務は事業期間を 30 年間とし、当初システムの構築時に、更新時のシステムの移行方法や条件を明確に取り決めておきたいと考えています。
--	--

(事業者の選定について)

市民意見	<p>今後 30 年間市民のために利用される建物なので、単に価格を優先させるのではなく、サービスが良質かどうかにも十分に考えて、事業者を選定してほしい。(1 件)</p> <p>“自分の病院”という意識で、長期間携わってもらえる信頼感のあるしっかりした民間事業者を選定してほしい。(1 件)</p>
市の考え方	<p>政令指定都市である神戸市が、一定金額以上の施設整備を P F I 方式で行う場合には、「W T O 政府調達協定」および「地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令」が適用されるため、事業者の評価・選定方法として「総合評価一般競争入札」を採用することとされており、新中央市民病院の整備もこの対象となっています。</p> <p>「総合評価一般競争入札」では、それぞれの事業の特殊性に応じた最もふさわしい提案を選定するために、価格と合わせて、それ以外の要素(提案内容の質)についても評価対象とし、総合的に判断することになります。</p> <p>特に、中央市民病院は、神戸市の基幹病院として、市民の生命と健康を 24 時間 365 日守り続けるといった重要な役割を果たすべき施設であり、その整備・運営を担う事業者を選定するにあたっては、良質なサービスを長期にわたって提供してもらえるかどうか、といったことは非常に重要な評価の視点であると認識しています。</p> <p>また、選定手続きの透明性や公平性にも十分配慮する必要があり、評価項目・審査基準の明確化や外部審査委員の積極的な活用を図るなど、民間事業者の創意工夫を適切かつ客観的に評価できる仕組みを検討し、市と協働で、患者さんやご家族の視点に立ったサービス提供ができる優れた事業者を選定していきたいと考えています。</p>

## 事業計画

### 1 財政収支試算（5件）

市民意見	<p>実際の建設費の支払方法や、経営改善に向けての具体的な方策が全くないが、開院6年後の単年度黒字は実現できるのか。（1件）</p>
	<p>不確定要素（推計）に基づいた収支計画となっている。最悪の場合も含めた収支計画を明らかにするなど、資金需要について説明が必要である。（1件）</p>
	<p>これだけの施設整備が280億円の枠内で収まるのか。震度7に対応する免震構造導入だけでも予算オーバーするのではないか。（1件）</p>
	<p>従業員（医師・看護師含む）のリストラや、不採算部門の切捨てを前提とした収支計画となっているのではないか。（1件）</p>
	<p>特別会計ではなく、一般会計からの支出として市民に公開してほしい。（1件）</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院では、より質の高い医療及び患者サービスを提供するとともに、自立した効率的な病院経営を実現するため、整備・運営を通じてできるだけ財政負担が少なくできるよう、PFI方式を導入することとしました。建設事業費については、このPFI方式による整備を前提に、現段階で想定している施設規模・面積をベースとし、市場動向調査を踏まえたうえで試算したものです。</p> <p>病院施設には、医療法をはじめとする各種法令等において施設基準が規定されているため、他の施設におけるPFI事業と比較すると、民間事業者の提案が一定程度制約される面もありますが、設計・施工の一体的発注による効率化や民間事業者のノウハウやアイデアの発揮により、基本計画（案）にお示ししている概算事業費程度で、免震構造も含め、災害に強く、癒しと安らぎの療養環境を備えた施設整備は可能であると考えています。</p> <p>PFI方式の導入を検討していく中で、これら整備に必要な資金について、民間事業者による調達も検討しましたが、起債による資金調達と比べて金利等が高く、事業全体の財政負担が大きくなるとの試算結果となったため、BOT方式を採用し、起債を活用して整備の進捗状況に応じた出来高払いをすることを考えています。</p> <p>財政収支については、平成17年度予算単価をベースに試算を行っていますが、平成16年度決算においても既にそれを上回る診療単価となっています。これら収入の確保を引き続き図るとともに、PFI方式の導入による経費削減など効率的な運営に努めることで、医療機器や医療情報システムの開発経費の償却が終わる開院後6年目には、償却後収支の黒字化が達成できると考えています。</p> <p>病院事業は、独立採算を原則とした企業会計で運営されているため、予算や決算、その他会計に関することについては一般会計とは区分されており、事業の経営状況がより明確にわかる仕組みとなっています。救急・高度・特殊医療といった行政的医療</p>

	<p>や不採算的医療に係る経費については、基準に基づいて一般会計からの繰入を受けていますが、この繰入金についても他会計補助金として明確にしたうえで、議会による議決を経て予算化、公表しています。</p> <p>病院事業を取り巻く経営環境には非常に厳しいものがありますが、新中央市民病院においては、神戸市の基幹病院としての役割を引き続き果たしていくために必要な人員を確保したうえで、民間事業者への業務委託などと併せて、職員が専門性を能率的に発揮できる環境を整備し、病院機能の充実・強化に対応できる運営体制を築いていきたいと考えています。</p>
--	--

## 2 運営形態（1件）

市民意見	<p>第3セクター方式の導入や、可能な限り民間委託制度を活用して、ハード・ソフト両面でのサービスの向上を図るべきではないか。（1件）</p>
市の考え	<p>中央市民病院は、神戸市の基幹病院として、救急医療、高度医療、特殊医療など、一般の医療機関では対応が困難な行政的医療・不採算的医療を提供するとともに、災害拠点病院、エイズ治療拠点病院としての公的使命を果たしてきており、市民の評価を含め一定の成果をあげていると考えています。</p> <p>しかしながら、医療を取り巻く厳しい環境の中で、今後も市民の期待に応え、公的使命を果たし続けていくためには、運営における機動性、柔軟性を高めるとともに、出来るだけ民間活力の導入を図っていくことが必要であると考えています。</p> <p>そこで、新中央市民病院の整備・運営にあたっては、PFI方式を導入することで民間事業者のノウハウを取り入れるとともに、地方公営企業法の全部適用または地方独立行政法人への移行のいずれかの導入を図ります。地方公営企業法の全部適用や地方独立行政法人は、より機動性、柔軟性の高い運営形態であるとともに、行政的医療や不採算医療などの公的使命を果たすことに対して、第3セクター方式では受けられない国からの財政支援（地方交付税による財政措置）を受けることができます。運営形態を見直すことによって、患者サービスのより一層の向上と効率的な病院経営を実現していきたいと考えています。</p>

## ・現病院の資産活用（6件）

市民意見	神戸市の財政面から考えて、移転後も現施設は最大限活用してほしい。（1件）
	現病院の跡地をどう活用するのか見通しが無い。（1件）
	現病院の資産活用として、地域住民のための医療関係施設として利用する方向で取り組んでほしい。（1件）
	現病院の資産活用の事業化調査に、なぜ4年間も必要なのか。（1件）
	現病院の跡地利用の用途決定にあたり算盤が先走り、その結果、これまで営々として築いてきた神戸市全域の地域医療体制を崩壊させることにならないようにしてほしい。（1件）
	現病院は解体することなく、新病院のバックアップ施設として、医師、看護師、技術者の養成、長期療養型の病床、車椅子、ストレッチャー等の移動困難患者の居室などへの利用を検討してほしい。（1件）
市の方	<p>現中央市民病院は、救命救急のため、24時間365日稼働しており、現在の診療機能を維持しながら、改修を行うことは困難であるものの、病院機能を新中央市民病院に移転した後であれば、建物・設備両面にわたる大幅な改修も可能であり、床の積載荷重の問題など、法律上の基準を満たすよう必要な構造補強を行ったうえで、様々な施設活用ができるのではないかと考えております。</p> <p>基本的には、基本計画（案）にもお示ししておりますとおり、できるだけ民間活力を導入し、県・市の保健福祉施策との整合性を図りながら新中央市民病院との連携を含め、全体として市民の健康・福祉・医療の向上や地域まちづくりへの貢献に寄与するような活用策を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>また、現中央市民病院は、場所的にも都心から近く、ポートライナーの駅に直結しており、また、神戸空港の開港、神戸学院大学や兵庫医療大学・神戸夙川学院大学の開校（19年4月予定）など、周辺環境が大きく変化し、新たな人の流れも想定されることから、活用策を検討するにあたり、これらも十分留意する必要があると認識しています。</p> <p>今後、民間事業者ヒアリングなど資産活用の事業化調査を行っていきますが、資産の引渡し時期が、新中央市民病院の移転後となることから、事業コンペ等の事業者選定は、早くても平成21年度以降になると考えています。</p>

## ・その他（５１件）

（医療産業都市構想との関連について）

市民意見	中央市民病院が、ポートアイランド２期に移転することにより、従来のジェネラルな治療に加え、先端医療センター等との密なる連携により、再生医療など市民の誇れる先端医療の拠点となってほしい。（３件）
	先端医療センターをはじめとする周辺の医療関連施設との連携を図るなどアジア地域の医療にどのような貢献をするかといった視点で、事業を進めていってほしい。市民だけを診療すればよいという時代は終わったのではないか。（２件）
	医療産業都市構想は計画通りいっているのか疑問である。（１件）
	移転により臨床部門が強化・充実され、産学連携による新たな健康システムの構築、内外の医療関連産業の誘致・集積に貢献することが期待できると思う。（１件）
	日常市民医療に専念することが本旨の市民病院が、なぜ先端医療センターの臨床研究をバックアップ、一体的運営を行わなければならないのか。（１件）
市の考え方	<p>新中央市民病院の移転予定地周辺を中心に進む医療産業都市構想は、既存産業の高度化と雇用の確保による神戸経済の活性化、医療サービス水準と市民福祉の向上、アジア諸国の医療技術の向上など、国際社会への貢献を目指しています。</p> <p>その実現のために、「先端医療センター」「理化学研究所発生・再生科学総合研究センター」などの中核施設が、国の支援を得て整備され、国の公的研究費による再生医療の臨床応用や医療機器の研究開発が着実に進んでおり、８７社の企業がポートアイランド第２期に進出してきています。（平成１８年５月現在）医療関連企業や研究機関が集積することによって、雇用が増加し、市内中小企業と連携した研究開発も行われるなど、神戸経済の活性化が進みつつあります。</p> <p>新中央市民病院は、これまでの機能・役割に加え、医療産業都市構想が進む中で、新しい医療技術や治療方法を、安全性・倫理性・科学性が認められ高度先進医療等として臨床に導入された段階で、速やかに従来の方法では対応が困難な病気の治療に還元していきたいと考えており、提供する医療の内容や質、治療成績、患者サービスに関して、日本国内はもとよりアジアのスタンダードとなれる病院を目指しています。</p>

（バイオハザードについて）

市民意見	先端医療センターと隣接するなら先端医療センター自体に起因するウイルス流出事故等、バイオハザードに関する対策が気がかりである。（１件）
	先端医療センターでは、「先端医療センター微生物等取扱規程」により、ヒトに感

市の考え方	<p>染すると重篤な疾病を起こす細菌やウイルス等は研究では取扱わないこととしており、災害時のみならず平常時においても周辺の施設に対して重大な影響を及ぼす可能性はありません。また、ヒト又は動物に対して重大な影響を及ぼさない細菌やウイルス等を研究に用いる場合についても、適正な取扱い及び管理方法を定めています。</p> <p>新中央市民病院では、市民の安全と安心を担う市の基幹病院として、大規模事故災害、新興感染症流行などに対しても、機能を十分に発揮し、迅速な対応が行える施設を整備します。</p> <p>具体的には、1類・2類及び新興感染症に対応するため、一般の患者さんとの動線を明確に分離した、感染症患者専用の出入口やエレベーターを整備するとともに、陰圧の診察室・処置室を設置します。また、バイオ・ケミカルテロや化学物質汚染事故に対応するための除染室・防護服を整備するほか、多くの患者さんが発生した場合に備え、除染テントの整備も行います。また、排水・排出物の処理も適切に行います。</p>
-------	--

(患者さんの権利・職員の倫理について)

市民意見	<p>「EBM、クリニカルパス、チーム医療」と書かれているが、「診察室という密室」の中で、「チーム医療」担当者全員が、「EBM」を提示して病院経営効率追及のために、患者に対し、同調圧力を加えるということも起こりえるので、「自己決定権の全て」を患者側に保持させるため、病院から独立した「権利擁護官」が必要である。(1件)</p>
	<p>「臨床医療」には、高度な医療倫理感覚と権利意識を醸成し、実践させる仕組みが必要である。(1件)</p>
市の考え方	<p>現中央市民病院では、市民の生命と健康を守るために、医師、看護師、薬剤師、技師など全職員が一丸となって患者さん本位の質の高い医療の提供に努めており、この考え方については、病院の「基本理念」に定めています。また、患者さんには、医療を受けるに当たって、憲法が保障する基本的人権の尊重を要求する権利があり、その実現を図るため「患者の権利章典」を定めており、その中で、「医療は、患者様と医療提供者との互いの信頼関係の上で協働して行われるもの」であり、患者さんの権利として 医療内容について他の医師の意見を求める権利 検査や治療の選択を自らの意思で決定する権利などを定めています。</p> <p>これらの「基本理念」及び「患者の権利章典」は、外来をはじめとする院内の各所に掲示を行うとともに、毎月の院内広報にも掲載するなどその周知徹底を図っています。</p> <p>また、実施される医学研究及び医療行為が、ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則を定めたヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的、社会的配慮のもとに行われること</p>

	<p>を目的としているかについての審議を行うため、医師や外部の有識者、市民の代表者などにより構成される倫理委員会を設置しています。</p> <p>新中央市民病院においても、基本的な考え方の1つとして「患者の人権と生命を尊重した、患者本位の医療を提供する」ことを掲げており、高度な見識・倫理観を持った優秀な医療従事者の確保・育成を図るとともに、患者さんに診療目的・内容について十分納得していただけるように、インフォームドコンセントに関する職員研修の一層の充実や、電子化された医療情報の活用により、正確かつ分かりやすい説明を心がけ、患者さんの「検査や治療の選択を自らの意思で決定する権利」の尊重に努めていきたいと考えています。</p>
--	---

(市民意見等の反映について)

市民意見	<p>市民に対する十分な説明がなされていない。市民への広報周知の一層の徹底を図るべきである。(3件)</p> <p>アドボカシ・プランニングを導入し、患者・市民に参画を促しながら、病院整備を進めてほしい。(1件)</p> <p>十分な情報提供や議論がないまま進められようとしている。真に市民に必要な中央市民病院のあり方を再検討するべきである(1件)</p>
市の考え方	<p>新中央市民病院整備事業については、学識経験者、医療関係者、住民・各種団体代表者などに参画いただき議論いただいた「中央市民病院の基本構想に関する懇話会」の報告書や「市政アドバイザー調査」、「患者満足度調査」の結果に加えて、市民意見を募集し、必要な加筆・修正を行った上で、平成16年11月に「新中央市民病院基本構想」として策定・公表しました。</p> <p>基本構想策定後も随時パンフレットの配布やホームページの更新などを行っており、この基本計画(案)についても、市民意見募集 広報誌への掲載 ホームページの掲載・更新 基本計画(案)の内容をわかりやすく説明したパンフレットの作成及び配布(各区役所や中央、西、西神戸医療センターの各病院など)などの広報活動に努めており、市民の皆様への積極的な情報提供及び意見の反映を行ってきました。</p> <p>今後も、パンフレットやホームページを通じた広報活動、出前トークを通じた広聴活動などに力を入れ、多くの市民の皆様の声を反映した、子どもからお年寄りまで誰もが利用しやすい病院を実現できるよう努めてまいりたいと考えています。</p>

(アクセスの改善について)

市民意見	ポータライナーの混雑緩和・スピードアップやバス路線の新設など通院環境の整備・充実を図ってほしい。(6件)
	先端医療センター前駅と新中央市民病院との動線について、現在設置されている動く歩道を有効活用したり、新たに患者等が楽しく歩ける遊歩道を設置してほしい。(1件)
	ポータライナーの駅から新病院まで渡り廊下で直結してほしい。(1件)
	病院までの雨に濡れない動線等、アクセスの快適性を確保してほしい。(1件)
市の考え方	<p>病院敷地内外の動線計画を含め、分かりやすく効率的なアクセスは、来院される患者さんの利便性の見地からも十分検討すべきことであると認識しており、現中央市民病院のポータライナーの駅と直結しているというアクセスの良さは移転後もできる限り実現したいと考えています。今後は最寄り駅から新中央市民病院までの動線などについて、市民の皆様のご意見をふまえ関係部局とともに検討していきたいと考えています。</p> <p>ポータライナーの混雑緩和・スピードアップについては、外来患者さんの約50%がポータライナーを利用されていることから、いただいたご意見の趣旨は事業主体である神戸新交通株式会社に要請してまいりたいと考えています。</p> <p>また、ポートアイランドでは、新中央市民病院の移転以外にも、平成19年度には複数の大学が新たに開校することも予定されており、周辺環境が大きく変化し、新たな人の流れも想定されることから、ポートアイランドにおける総合的な交通体系について、神戸新交通株式会社など関係機関に必要な措置を要請してまいりたいと考えています。</p>

(駅名変更について)

市民意見	移転後の最寄り駅は「先端医療センター前」駅になるのだろうが、移転後は駅名を「中央市民病院前」駅にしたほうが分かりやすいのではないか。(1件)
市の考え方	現中央市民病院の外来患者さんの約50%がポータライナーを利用されていることから、ご利用いただくお客様にとってわかりやすい駅名であることが望ましいと認識しており、いただいたご意見の趣旨は、事業主体である神戸新交通株式会社に要請してまいりたいと考えています。

(移転新築について)

市民意見	<p>神戸市の財政状況を考えると新病院を建設するのではなく、現施設を活用すべきではないか。(6件)</p>
	<p>現病院でも十分基本計画(案)にかかっている施設のレベルに達している。現施設が建物構造上の問題はなく十分耐用可能であれば、劣化した設備類の改修・取替えて今後も使用できるのではないか。(5件)</p>
	<p>今より市街地から離れた場所に移転することで、不便になるし交通費の負担も増える。また、救急機能の低下が懸念される。(4件)</p>
	<p>先端医療の各施設が集中している予定地への移転は歓迎する。(1件)</p>
	<p>現地改修でも医療の変革に対応できるはずである。(1件)</p>
	<p>中央市民病院は建築から24年しかたっており、震災後の「構造体調査報告書」でも、「問題ない」との報告が出されており、2000年～2003年にかけては、総額約20億円近くをかけた保全が実施されたばかりで、「老朽化」が「診療行為そのものに支障をきたす」ほど、差し迫った課題になっているとは考えられない。(1件)</p>
市の考え方	<p>「はじめに先端医療センターと廊下つなぎありき」の市の意向には反対である。基本計画(案)において、現病院の資産活用のところで「設備類の経年劣化は進んでいるものの、兵庫県南部地震による建物構造上の問題はなく、十分耐用可能であるため、第一義的には現施設を再利用できるような活用策について検討を行う」とあるが、それならばPFI方式による現地改修(R0方式)なども含めて検討すべきではないか。(1件)</p>
	<p>現中央市民病院は、兵庫県南部地震による建物構造上の問題はありますが、開院後26年目を迎え、病棟や診療部門の天井裏などに設置された各種配管や電気設備の老朽化が深刻な状況になっており、今後ますます進んでいく医療の高度・専門化、情報化、多様化する患者ニーズに的確に対応していくことが困難な状況になっています。</p> <p>また、平成16年8月に行われた日本医師会等による病院・有床診療所の耐用年数調査では、過去5年以内に実際に建て替えた病院の平均使用年数は31年であり、現中央市民病院も新中央市民病院の開院予定である平成22年度には使用年数が30年となり、決して早すぎる建て替えではないと考えています。</p> <p>さらに、救命救急のため、24時間365日稼働している現中央市民病院を閉鎖して、改修を行うことは不可能であるため、診療行為を続けながらの改修工事となり、工期が長期に渡ることや、診療機能の移転を繰り返しながら工事を行うための仮設工事や、精密な医療機器などへの対策工事費が発生するほか、病棟の一部閉鎖など診療行為を制限することに伴う工事期間中の収益悪化や、維持補修に毎年約5億円がかかることなどをあわせ考えれば、事業費の面で現地改修も移転新築と大きく変わらないと考えています。この点については、PFI方式での移転新築(BTO)と現地改修(R</p>

〇)を比較しても同様であると認識しています。

移転新築に関しましては、基本構想策定時に、医療機能改善の観点、先端医療センターとの連携の観点、財政的な問題の観点に加え、患者さんやご家族の利便性を大きく損なわないかといった観点から総合的に評価され、移転新築を前提に整備を進めていくための予算をつけていただいたものと認識しています。

財政状況が厳しい中でも、選択と集中による施策の重点化を図り、市民の皆様の安全・安心の基盤であり、市民の皆様の生命と健康を守る最後の砦である病院の整備は最優先で取り組むべき事業であると考えています。

新しい医療技術、環境への対応や患者ニーズの変化への対応を怠る場合には、患者さんを引き付ける力を失い、より経営状況を悪化させることもあることや、当面の投資額を抑えるために一部改修をする場合には、結局将来投資が必要となりかえって二重投資となることから、必要な整備を先送りにするわけにはいかないと認識しており、現病院開院後 30 年目となる平成 22 年度の開院を目標に 21 世紀にふさわしい機能を備えた病院を実現したいと考えています。

救急機能については、諸室の配置や院内動線の抜本的な改善が可能であり、救急部門についても 血管造影や MRI などの画像診断機器を備えた検査部門と隣接して配置することで緊急の検査にも迅速に対応することができる 手術部門と隣接または専用エレベーターで直結するなど部門間の動線が大幅に改善できる、などにより、診断確定、治療開始までの時間短縮を図ることができ、現病院以上に救急救命機能を強化できると考えています。

なお、新中央市民病院の整備・運営にあたっては、より質の高い医療の提供と、自立した病院経営のため、整備・運営を通じてできるだけ財政負担が少なくなるよう、PFI方式を含めた事業手法の検討など、更なる民間のノウハウの導入を図ることなどにより、これまで以上に健全な病院経営を目指していきたいと考えております。

(地域経済への貢献について)

市民意見	建設、備品調達に当たっては、地元神戸の企業を優先的に採用してほしい。(2件)
	移転に伴い、地元企業に何らかの形で経済効果が還元されることを期待する。(1件)

市の考え方	<p>本事業は、建設工事費で24億1千万以上となるため、WTO政府調達協定の対象事業となり、入札要件として、地域条件を課すことが出来ません。</p> <p>しかしながら、事業規模的にも期間的にも大きいものであるため、地域経済への波及効果は、相当あるのではないかと考えており、地元経済の活性化の観点から、他のPFI事例にもあるように、「地域経済への貢献」や「地元企業の活用に関する考え方」を評価項目に設定するなどの工夫が出来ないか、今後PFI法に則った手続きを進めていく中で、頂いたご意見も参考に具体的に検討していきたいと考えています。</p>
-------	---

(お見舞い時のマナーについて)

市民意見	<p>控室でお見舞いの人達が時間を過ぎて遅くまで話すことがないように、患者・家族に対しても規則を徹底してほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>お見舞いの方への規律を提示すること等により、他の患者さんの迷惑とならないようなマナーの徹底を図っていきたくと考えていますが、ライフスタイルの変化により、今後も24時間のお見舞いに対する要望なども増えていくと認識しています。新中央市民病院では、セキュリティに十分配慮した出入口管理システムを備えた上で、患者さんやご家族の利便性やプライバシーに最大限配慮し、個室の増加に努めることや、病棟に多目的室やデイルームを設置することなどにより、患者さんやご家族が、食事や団欒を他の患者さんやお見舞いの方の迷惑にならないような形で出来るように配慮に努めたいと考えています。</p>

(医師の評価について)

市民意見	<p>医師の質を向上させるために、医師の評価ができる仕組みをつくってほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>中央市民病院が、市の基幹病院として、救急医療・高度医療・急性期医療を重点に、患者さん本位の医療を提供していくためには、質の高い医療従事者を確保するとともに、その水準について、院内での自己点検や院外の人による外部評価を実施し、定期的に評価していくことが重要であると考えています。</p> <p>現中央市民病院においては、年に1度入院患者・外来患者に対して調査票を配布して行う患者満足度調査の実施や、意見箱の設置などを通じて、医師をはじめとする医療従事者に対する、患者さんの評価を把握する取り組みを行っています。</p>

	<p>また、他の公的病院においては、勤務成績を処遇に反映させるメリットシステム(成績主義)の導入や専門的な知識経験を有する職員をあらかじめ定められた一定の期間任用する任期付職員の採用などを行っており、それらを参考にしながら新中央市民病院においても、現在実施している取り組みのほか、医療の質や患者サービス向上に対する貢献度などを評価する仕組みを検討することで、患者さんへの質の高い医療の提供に努めてまいります。</p>
--	--

(ジェネリック医薬品について)

市民意見	<p>安価なジェネリック医薬品での治療を推進してほしい。(1件)</p>
市の考え方	<p>ジェネリック医薬品の使用促進のための環境整備の観点から、平成14年度の診療報酬改定において医療機関でジェネリック医薬品を含んだ処方せんを発行した場合に診療報酬が加算されることとなりました。また、平成18年度診療報酬改定においては、医師が処方せんに設けられた「後発医薬品への変更可」欄に署名することにより、ジェネリック医薬品を希望する患者さんの要望に応じて処方できるよう変更されました。今後、国の動向を踏まえ、安全性の確保、患者負担の軽減等を総合的に判断した上で、ジェネリック医薬品の推進について検討していきたいと考えています。</p>